

第 11 回 日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会 議事録

【日時】 2014 年 7 月 5 日（土） 12：20-13：15

【場所】 東京コンベンションホール 小ホール

【出席者(順不同、敬称略)】

石田、藤田、杉山、武田、長田、細谷、佐藤、生川、堀、牛尾、児玉(和)、
児玉(恵)、中島、林、遠藤、成田、水上、高平、入江、古川、今井、三宅、
保坂、林宝、山本、小山田、伊藤、村上、圓尾、市川、岩本、北澤、五十嵐
(合計 33 名)

【議長】 藤田 道郎

【書記】 林 光児 北澤由紀子 五十嵐宏之

1. 報告事項

1) 第 5 回Ⅱ種試験実施要項（古川）

①試験実施日：10 月 19 日（本年度よりⅠ種二次と同日）

②試験会場：報告事項 5)に記す

2) 第 5 回Ⅰ種一次試験関連報告（堀）

①試験実施日：10 月 19 日（本年度よりⅠ種二次と同日）

②試験会場：報告事項 5)に記す

3) 第 6 回Ⅰ種二次試験実施要項（武田）

①試験実施日：10 月 19 日（本年度よりⅡ種、Ⅰ種一次と同日）

②試験会場：報告事項 5)に記す

③面接官：現在学識経験者より以下三名が内定 石田、藤田、細谷

4) 2013 年度認定医委員会収支報告（堀）

①2013 年度認定委員会 収支報告

収入：6,795,500 円 支出：1,874,470 円 次年度繰越 4,921,030 円

5) 今年度試験会場に関して（杉山）

昨年の認定医認定委員会にて本年度以降合同実施

① 本年度会場

会場：新宿ベルサールグラウンド（メール会議にて認定医委員会、理事会で承認）

会場使用料、見込み：70-80 万円前後

詳細：大学施設の使用が費用面などから理想的だったが大学施設使用手続き上の

諸事情から大学施設使用の確約が得られず。商業施設利用で決定とする。

② 次年度以降の会場

- ・大学施設で実施できるように動いていく
- ・大学施設の使用確約が得られるか、本年度試験実施後の受験者などの各意見はどうかなどを集約し、大学施設、商業施設どちらで実施するかを検討
- ・毎回場所が変更になるのは受験者側の不便もあるため極力会場を固定して実施を検討
- ・10月以降試験実施後、試験結果承認のメール会議の際に審議

③ その他

試験にあたり必要な認定医委員およびアルバイトの人数について（古川）

→試験管の人数は8月以降受験者数が決定してから詳細決定

6) その他

特になし

2. 審議事項

1) 2014年度認定委員会 予算案

収入 本会から 3,000,000 円

支出

- ・本年度より認定医事務代行費の追加 300,000 円
 依頼業者：本会の事務局担当のオフィスフクハラに依頼
 内容：認定医試験願書受付業務の委託
 費用：Ⅱ種関連 20 万円前後、Ⅰ種関連 10 万円前後
- ・試験会場の施設費の組み込みなし 予算 70-80 万円
 →施設費の予算を組み込み、再度予算案作成し7月中にメール審議
 →認定委員会で承認得られたら理事会におけるメール審議にて決定

2) Ⅱ種認定医資格失効者と資格更新猶予期間延長について（伊藤）

規則に基づき下記 12 名が 2014 年 4 月 1 日をもって獣医腫瘍科認定医Ⅱ種資格失効となる

有効期限：2009 年 4 月 1 日 - 2013 年 3 月 31 日

猶予期間：2013 年 4 月 1 日 - 2014 年 3 月 31 日

認定医 Ⅱ種番号	氏名	出席、口頭発表、雑誌投稿 合計
2	八木高広	0
4	市瀬徹	0
18	中市統三	0

19	鷺巣月美	0
21	桑原正人	1
48	野沢啓一	0
136	久保田智子	0
45	吉田俊一	3
39	三宅一嘉	3
65	石森久実子	3
102	管慶一郎	3
190	金久保佳代	3

そのうち、認定医Ⅱ種番号 45、吉田俊一先生から「病氣療養中のため」という理由から「資格更新猶予期間延長願い」が提出された

↓

現時点で猶予期間延長を認める担当および基準が明確ではないため

- ・ 猶予期間延長の申請が来た場合の担当をするルート（長田）
- ・ 猶予期間延長を認めるにあつたての附則（杉山）

を明確にし、予算案に関するメール審議の際に本議題を審議。

その審議で資格失効の基準が明確になったうえで吉田先生を含めた 12 名の対応を最終決定

3. その他

1) 各試験担当者から試験問題の提出が滞っているとの報告（杉山）

試験問題は認定医委員全員で作るものなので協力をお願いしたい

2) 議事録がホームページに乗らず止まってしまっている（杉山）

ルートの再確認

書記→庶務：認定医委員内での審議とりまとめ→承認→事務局へ提出

3) Ⅱ種教育講演の講演内容のテキストとの適合性（水上）

前回学会の調査では問題なし、今回学会も調査を行っている

以上